

「いよいよ500周年の幕が開く……450周年をふりかえり、県民・市民の想いを込めた50年後の「みなとまち長崎の未来像」を発表し、考え、スタートを切ります。

未来へつながる、ヨンゴ-マル!



長崎開港
450th
NAGASAKI PORT



長崎開港シンポジウム500 ゴーマルマル -長崎開港450周年記念事業 未来へのスタート-

日時

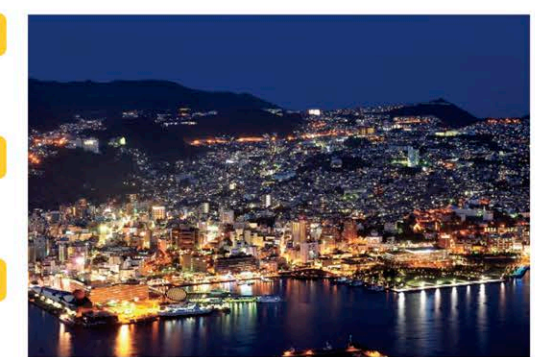
2022年3月21日(月・祝) 13時30分~17時

場所

出島メッセ長崎 コンベンションホール

プログラム

- ・記念映像上映
- ・「みなとまち長崎の未来像」の発表
- ・長崎の若者の発表(小学生・中学生・高校生・大学生)
- ・パネルディスカッション
- ・活水中学校・高等学校吹奏楽部によるフィナーレ演奏



参加応募は締め切りでしたが
当日はYouTubeで生配信します。
詳しくは公式HPをチェック!!!

「みなとまち長崎の未来像」のこと

50年後の未来に向かって、県民・市民・関係機関などがチャレンジし、発展していくための夢を示した羅針盤となる未来像。アンケート調査から得られた意見をイラスト化します。

- たとえばこんな意見!
- *夜景や歴史的資産等の保全
 - *ドローンを活用した荷物運搬
 - *浮島による新空間の創造
 - *海のゴミ自動除去装置による環境保全
 - *海中トンネルでの親水空間

集まった回答、なんと8,900件!

長崎開港450周年記念事業ライブラリー

2021年は「長崎開港450周年記念式典」にて、みなさまと一緒に長崎開港450周年をお祝いし、「長崎開港フェスタ450」にて長崎のまちの原点を感じることが出来ました。みなさまありがとうございました。今後とも「みなとまち長崎」をよろしくお祈りします!!!



初体験!
高校生がキリトル
土木ワールド



プロジェクトに協力してくださったのは、小川尚先生、大村高校写真部(顧問:高比良奈々先生、月川千恵子先生)、長崎東高校写真部(顧問:黒田佳孝先生)の3校。3校とも普通校です。

DOVOC(土木)最高!!みなさんこんにちは、デミー博士です。私は土木が好きすぎてダイナマイトを使った爆破の土木イベントを行ったり、土木現場の体当たりレポートをYouTubeで発信などをしています。そのため私のことを土木タレントと呼ぶ人もいます。笑 インターネットで「デミー博士」や「土木タレント」などと検索してみてください。私は今年度から本誌(7月、11月、3月発行)で「デミー博士」のラブDOVOC土木を担当させていただきます。7月号、11月号、3月号は読みましたか?読んでいない方のために簡単に説明します。7月号「土木PRタレントデミー博士って何者?編」は、広報の大切さや必要性を学ぶきっかけを与えてくれた軍艦島研究、土木の道を志そうと思った高校時代のある出会い、土木YouTuberになったワケが掲載されています。また、11月号「YouTube連動企画」高校を卒業して建設業に就職した20歳の現場監督の「一日」は、現場での密着レポート記事が掲載されています。詳細は、インターネットで「DOVOC通信ながさき」と検索するとアーカイブが無料で見れますのでぜひチェックしてみてください。

普通校の生徒に撮影してもらったのは、ワケがあります。土木関係者は、土木が当たり前になっているため、その魅力や価値を忘れてしまっています。一方、生徒は土木はじめて見るので、その感覚で撮影してもらいたかったからです。はじめては、ワクワク・ドキドキします。そこには発見や驚きがたくさんあります。私にはじめての感覚に魅力の再発見があると思っています。

撮影現場は、国土交通省長崎河川国道事務所が長崎県諫早市に建設している高架橋とダム現場。撮影は、11月1日、11月13日、12月27日の3回行い、延べ50名の生徒が参加しました。撮影前、オンラインで使命と価値についての講義を行いました。力作ばかりで写真の選定が大変でした。なお、撮影した写真を用いて写真展の開催SNSの発信を行いますのでデミー博士のHPやTwitterをチェック!



てみてください。説明が長くなりすぎたが、高校生がはじめて体験した土木ワールドをどのようにキリトルたのかを生徒の感想と合わせてお楽しみください。今日も一日、安全に!